



8月2日

JTAわくわくお仕事見学



中央公民館の夏休み親子講座として人気の高い「空港の仕事見学」が、JTA(日本トランスオーシャン航空)で行われました。パイロットから1日の仕事について説明を受けた子どもたちは、憧れの眼差しを向け真剣に話を聞いていました。また、日頃は入ることのできない整備工場に入り整備士の仕事を見学し、その後迫力あるエンジン近くで見たり、触ったりと貴重な体験をしていました。さらに、実際の飛行機をモデルに作られた施設「モックアップ」での緊急脱出体験も一生懸命取り組んでいました。



8月10日

第6回西原町青少年音楽祭



第6回西原町青少年音楽祭(西原町音楽文化研究会・西原町教育委員会主催)がさわふじ未来ホールで開催され、来場者は町内小中学生による合唱や吹奏楽の美しい音色、西原高校マーチングバンド部の迫力のある音楽と華やかなダンスに魅了されていました。また、協賛のオキコ(株)と沖縄森永乳業(株)より、出演者へパンと飲み物の提供がありました。



7月24日

夏休み!ドッチボールで大熱戦!



第9回ドッチボール交流会(西原町学童保育連絡協議会主催)が西原町民体育館で行われ、約400名の子どもたちが参加しました。本交流会は、普段接する機会のない他の学童クラブの子どもたちとも仲良くなるきっかけにしてほしいという狙いで開催されており、各学童クラブ対抗で白熱した試合が繰り広げられ、交流が深まりました。



交流が深まりました。

◀学童クラブについてこちらでチェック!

7月25日

親子健康手帳ケースで地域貢献



JA共済の地域貢献活動の一環として、今年もJA沖縄共済連沖縄県本部及びJAおきなわ西原支店より、「親子健康手帳ケース」400個が贈呈されました。3年目となる今回のケースには、海の中で泳ぐマンタやウミガメ、隠れクマノミの親子が描かれており、子どもたちに喜ばれるデザインとなっています。また、手帳のほかに診察券や領収書、印鑑などが収納できる使い勝手の良さが保護者から好評です。西原支店の国吉清成支店長は、「子どもの誕生を祝うとともに、子育て支援の手助けになれば」と話しました。



※ケースは、親子健康手帳の発行時に役場窓口で配布しています。前年度分の配布が終わり次第、新デザインを配布予定です。



7月9日

いざ、スイカ勝負!



第4回部会員親睦スイカ勝負大会がJAおきなわ西原支店園芸部花卉部会主催で行われました。この勝負は、花卉農家が12月~5月までのキクおよびトルコギキョウの出荷を終えた後に、来年度オープンする直売所に出荷できる夏場の新たな農産物を探るため、本町であまり生産されていないスイカに着目し、その栽培技術の向上を図ろうと行われています。重量の結果、今年の栄えある第1位は儀間英一さんのスイカ(14.4kg)となりました。儀間さんは「3連覇できて嬉しい」と笑顔を見せました。



7月22日

FC琉球上原選手 一日警察署長に



浦添警察署の一日警察署長に任命されたFC琉球の上原慎也選手(西原高校卒)、上里一将選手が、西原シティで西原中学校男子サッカー部員と一緒にチラシを配り、交通事故・飲酒運転ゼロを呼びかけました。また、上原選手の母校である西原中学校でサッカーふれあい体験も行われ、視界が歪む飲酒運転体験ゴーグルを着用してプレーすることで飲酒の影響を疑似体験しました。最後に上原選手は、「中学生のときはサッカー選手になれると思っていなかったけど、あきらめずに続けてプロになれた。何事に対しても、あきらめずに一生懸命続けてほしい」とサッカー部員を激励しました。

6月26日

東部消防組合  
新消防本部庁舎整備へ答申

左/前津榮健  
右/照屋勉  
東部消防組合管理運営  
沖縄国際大学学長



東部消防本部庁舎は、昭和55年に建設されて以来39年の間、与那原・南風原・西原町の防災拠点施設として重要な役割を果たしてきました。しかし、庁舎等の老朽化に伴い、震度6以上の地震振動及び衝撃に対して倒壊する危険性があるとの耐震診断結果となり、また耐震補強も相当困難な工事になるため、新消防本部庁舎建設が検討されてきました。

新庁舎建設に向け、住民代表者を含む審議委員で構成する東部消防組合消防計画審議会にて新消防本部庁舎整備基本構想の策定について諮問が行われ、前津榮健消防計画審議会会長(沖縄国際大学学長)から照屋勉管理者(与那原町長)へ答申書が手渡されました。内容には新消防庁舎の位置、規模、必要な施設、事業費及び資金計画などが示されており、今後この基本構想をもとに、新消防本部庁舎建設基本計画策定へと移行します。

7月16日

伊禮さんに法務大臣から感謝状



6月30日付で人権擁護委員を任期満了退任された伊禮キヨさんのこれまでの功績を称え、法務大臣から感謝状が贈呈されました。伊禮さんは2期6年に渡り、人権に関わる啓発活動や相談業務など町の人権擁護にご尽力いただきました。長年のご功績に対し深く感謝申し上げます。伊禮さんは、「あつという間の6年間だったが一生懸命取り組んだ。微力ながら町民のためになったのであれば嬉しい」と話しました。